

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者：1・4・5 組 山中 2・3・7 組 高橋 6・8 組 門脇

使用教科書：（高等学校 歴史総合（帝国書院） 明解歴史総合図説シンフォニア（帝国書院））

教科 地理歴史 の目標： 我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

我が国の形成の歴史的過程については、世界史的視野に立って、我が国を取り巻く国際環境（世界の歴史）との関連で理解させ、また世界の形成の歴史的過程については、諸地域世界の歴史と相互の交流・結合の歴史を通じて大きな流れを理解させる。

【知識及び技能】 世界の人々の生活・文化に関する地域的特色と共通の課題、自然環境及び社会環境の関連、諸地域相互の関連を理解させ、これらを通して地理的な見方や考え方を培おうとする。

【思考力、判断力、表現力等】 自らが国際社会の中で価値ある国家・社会を形成していく責任を自覚し行動し、その形成に主体的にかかわる存在であること。また国際的な相互依存が進む中で、自らが国際社会の形成者として、自らがよって立つ平和で民主的な国家・社会を維持・発展させることについての日本国民として必要な自覚と資質を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他地の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
【思考力、判断力、表現力等】部【知識及び技能】第1章 江戸時代の日本と結び付く世界 【知識及び技能】【知識及び技能】18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	【知識及び技能】18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのだろうか。	【知識及び技能】【知識及び技能】18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	○	○	○	6
【思考力、判断力、表現力等】部【学びに向かう力、人間性等】第2章 近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのだろうか。	【知識及び技能】国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	○	○	○	6
【思考力、判断力、表現力等】部第4章 アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識及び技能】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。	【知識及び技能】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	6
【思考力、判断力、表現力等】部第5章 近代化が進む日本と東アジア 【知識及び技能】明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していったのだろうか。	【知識及び技能】明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
【学びに向かう力、人間性等】部【知識及び技能】第1章 第一次世界大戦と日本の対応 【知識及び技能】国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。	第一次世界大戦は、日本を含む世界の人々にとってどのような戦争になったのだろうか。	【知識及び技能】国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。	○	○	○	8
【学びに向かう力、人間性等】部【思考力、判断力、表現力等】第2章 国際協調と大衆社会の広がり 【知識及び技能】ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、【思考力、判断力、表現力等】20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、その解決策について追究しようとしている。	欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのだろうか。	【知識及び技能】ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、【思考力、判断力、表現力等】20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、その解決策について追究しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

教科名	地理・歴史科		科目分類	必修選択
科目名	日本史探究		単位数	3 単位
学年	2 学年	担当者	山中章裕	

教科書 使用副教材	詳説日本史(山川出版社)、 新詳日本史(浜島書店)
--------------	------------------------------

学期	月	予定時数	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	
一学期	4	中間 18	<ul style="list-style-type: none"> 先史社会の生活と文化 歴史資料と先史・古代の展望 中世社会の展開 中世社会の成立 歴史資料と中世の展望 	<ul style="list-style-type: none"> 旧石器時代から飛鳥時代までの社会の変化を理解する。 大陸文化の影響、習俗の推移など人々の生活について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】出席状況、授業態度 【思】提出課題、考査 【知】小テスト、考査 【技】授業中の問題 	
	5					
	6	期末 18		<ul style="list-style-type: none"> 貴族社会、武家社会それぞれの違いを理解する。 古代から中世にかけての国家の展開と各時代の文化の特色について理解する。 地方の動向や国際関係の変化を理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> 【関】出席状況、授業態度 【思】提出課題、考査 【知】小テスト、考査 【技】授業中の問題
	7					
二学期	9	中間 21	<ul style="list-style-type: none"> 近世社会の形成 歴史資料の近世の展望 近世社会の展開 近代社会の幕開け 歴史資料の近現代の展望 近代社会の展開 	<ul style="list-style-type: none"> 織豊政権及び幕藩体制の特色と推移、社会や文化の動向について理解する。 国際関係の変化とその影響を理解する。 産業の発展について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】出席状況、授業態度 【思】提出課題、考査 【知】小テスト、考査 【技】授業中の問題 	
	10					
	11	期末 18		<ul style="list-style-type: none"> 欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想及び産業の新たな展開について理解する。 条約改正・日清戦争から第二次世界大戦までの諸外国との関係の推移を理解する。 我が国の立憲国家としての展開について理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> 【関】出席状況、授業態度 【思】提出課題、考査 【知】小テスト、考査 【技】授業中の問題
	12					
三学期	1	学年末 30	<ul style="list-style-type: none"> 現代の日本の課題の探究 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦の終結から今日に至る我が国の歴史について理解する。 日本の文化や課題について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】出席状況、授業態度 【思】提出課題、考査 【知】小テスト、考査 【技】授業中の問題 	
	2					
	3					

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史

科目：世界史探究

単位数：3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 2 組， 4 組～ 8 組

教科担当者：（1,2組：早田）（4組：渡邊）（5,6組：早田）（7,8組：早田）

使用教科書：（詳説世界史（山川出版社） アカデミア世界史（浜島書店））

教科 地理歴史 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・アジアにおける文明の成立から国家の形成までの歴史について理解している。 ・古代アジアにおける人々の生活や社会の変化について理解している ・各地域のつながりを、シルクロードに着目しながら理解している	文明の成立と古代文明の特質 中央ユーラシアと東アジア世界 南アジア世界と東南アジア世界の展開	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	6
・中世アジア・ヨーロッパにおける世界の変容と展開について理解する ・イスラーム教の成立とその展開について理解する ・イスラームの広がりが世界にどのような影響を与えたかについて考察し表現している	西アジアの国家形成 イスラーム教の成立 イスラーム教の諸地域への伝播	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	6
・イスラームが広がった西アジアにおける国家の動向について理解している ・ギリシアやローマなど地中海に面した地域の国家形成がどのように進んでいったかについて理解している	西アジアの動向 地中海周辺の国家形成	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	12
・東西ヨーロッパの特徴をつかみ、それぞれどのような歴史をたどったかについて理解している ・封建社会がどのような特徴をもっているかについて理解している	ヨーロッパ世界の変容と展開 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	6

1 学期

	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアと、それ以外の地域とのかかわりについて理解している ・交易の広がりが、世界にどのような影響を与えたかについて、考察し表現している。 ・西アジアの2つの帝国の歴史について理解している ・オスマン帝国とヨーロッパ諸国のかかわりについて理解している ・清の歴史について、女真族がつくった国だということを踏まえて理解している ・清と隣接諸地域のかかわりについて理解している 	大交易・大交流の時代 アジアの諸帝国の繁栄	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている 	○	○	○	6
	定期考査			○	○		
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ世界の変容のきっかけとなったルネサンスと宗教改革について、その背景や影響を理解することができる ・主権国家体制のしくみについて理解している ・オランダ・イギリス・フランスの覇権争いの歴史について理解している ・産業革命の背景と影響について、考察し表現している ・アメリカ合衆国の独立の背景と流れについて理解している ・フランス革命の大まかな流れについて理解している ・フランス革命が世界にもたらした影響について、考察し表現している 	近世ヨーロッパ世界の動向 産業革命と環大西洋革命	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている 	○	○	○	9
	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン体制について、その特徴を理解している ・ウィーン体制下におけるヨーロッパ各国の動向について理解している ・列強諸国間の複雑な関係性について、各国の立場も踏まえながら理解している ・アメリカ合衆国の繁栄について理解している ・帝国主義がなぜ生まれたかについて、考察し表現している。 ・第二次産業革命と帝国主義の関係性について理解している 	イギリスの優位と欧米国民国家の形成 帝国主義	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている 	○	○	○	12
	<ul style="list-style-type: none"> ・列強諸国とのかかわりも踏まえながら、西アジア地域の変容について理解している。 ・アジア地域がどのように植民地化されていったかについて理解している ・アジアにおける民族運動について理解している ・アジアと列強諸国とのかかわりについて理解している 	アジア諸地域の動揺 アジアの民族運動	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている 	○	○	○	9
	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦がなぜ起こったのかについて、考察し表現している ・第一次世界大戦の経過について理解している ・ヴェルサイユ体制がどのような体制だったかについて理解している ・第一次世界大戦後の各国の動きについて理解している ・世界恐慌が世界に及ぼした影響について考察し表現している ・ヴェルサイユ体制が崩れていく流れを理解している ・第二次世界大戦の経過について理解している 	第一次世界大戦と世界の変容 第二次世界大戦	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている 	○	○	○	9
	定期考査				○	○	
<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の世界がどのように形作られていったかについて、理解している ・冷戦の両陣営の特徴について理解している ・冷戦の初期の経過について理解している 	新しい国際秩序の形成 冷戦の展開	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている 	○	○	○	9	

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・第三世界の特徴をつかむことができる ・第三世界の動向について理解している ・キューバ危機の背景やその後与えた影響などについて理解している。 ・冷戦体制が、時代を経ることに変容していったその流れについて理解している ・戦後において、経済政策はどのようにとられていったのかについて理解している 	冷戦と第三世界の台頭	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	12
	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦がどのようにして終結を迎えたかについて理解している。 ・冷戦終結後の社会について理解している ・これまでの歴史と今日の世界を結び付けることができる ・現代文明における、課題について主体的に解決しようとしている 	冷戦の終結と今日の世界	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	9
定期考査				○	○		合計 105

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：山中） （2組：別木） （3組：山中） （4組：別木） （5組：山中） （6組：別木）
 （7組：別木） （8組：別木）

使用教科書：（高等学校 公共（清水書院） 最新図説 公共（浜島書店））

教科 公民 の目標：人間と社会についての見方・考え方を育み、現代の諸課題を追求・解決する活動を行う。また、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に、主体的に生きる平和で民主的な社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論できる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する意欲や姿勢を持つことができる。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え、考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。また、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	自らが国際社会の中で価値ある国家・社会を形成していく責任を自覚し行動し、その形成に主体的にかかわる存在であること。また国際的な相互依存が進む中で、自らが国際社会の形成者として、自らがよって立つ平和で民主的な国家・社会を維持・発展させることについての日本国民として必要な自覚と資質を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・青年期の特徴と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。 ・ギリシア哲学や宗教の学習を通して、「幸福」「愛」「徳」などの観点から、人間としての在り方生き方について思索させるとともに、人生における宗教や芸術のもつ意義について理解させる。 ・日本の思想が我が国の風土や伝統、外来思想の影響を受けながら形成されてきたことを理解させ、国際社会に生きる日本人としての自己の在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。	第1章 公共的な空間をつくる私たち 1 私たちの人生と社会 2 青年期の心理と課題 file1 職業の選択とライフコース 3 哲学の起源と発展 -ギリシア思想 4 一神教の教え 5 東洋の宗教と思想(1) -仏教 6 東洋の宗教と思想(2) -儒教 7 日本の風土と神仏への信仰 8 江戸時代の学問と近代化への歩み file2 伝統芸能と日本的美意識	【知識・技能】 ・生涯における青年期の意義や、現代社会における青年の状況について理解し、その基本的な知識を身につけている。先哲の在り方・生き方について理解を深め、先哲の著した原典資料を適切に活用し、その思想に関する基本的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・自己の内面形成と社会とのかわりに着目させながら、自己形成の課題について考察し、適切に表現している。先哲の在り方・生き方に触れて考えたことを、自らの言葉で適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間をつくる私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
・カントの思考と功利主義の考え方の理解をもとに、社会の構成員としての自己を意識させるとともに、「幸福」「正義」「公正」などの観点から、他者との関わりや社会のあり方について考察させる。 ・生命科学や医療技術の進展にともなって生じた倫理的課題から、生きることの意義について思索させるとともに、「幸福」「公正」などの観点から、社会のあり方について考察させる。 ・深刻化する環境問題とその解決に向けた取り組みを理解させ、地球規模の課題を身近な地域の問題として捉え、社会の構成員として生きる自己のあり方について考察させる。	第2章 公共的な空間における人間 1 義務論と功利主義 file3 思考実験 2 生命倫理 file4 代理出産を認めるべきか 3 環境倫理 file5 環境を守るために何ができるか	【知識・技能】 ・行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。生命科学や科学技術の進展に伴い、様々な課題が生じてきていることを理解し、その基本的な知識を身につけている。環境に関する政治・経済体制や倫理観の重要性を理解し、その基本的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・幸福、正義、公正などに着目して、倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間をつくる人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4
・経験論や合理論などの科学的な思考、社会契約説、ヘーゲルやマルクス、実存主義などの近代思想を通して、自然と人間との関わりを理解させ、社会の在り方と人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。 ・ハーバーマスやアレント、ロールズらの政治理論の理解をもとに、「公共的な空間」として形成された現代社会の諸課題、「社会的存在」である人間の在り方生き方について考察させる。	第3章 公共的な空間における基本的原理 1 近代的人間性の誕生(1) -近代の始まり 2 近代的人間性の誕生(2) -科学的な思考 3 国家社会と人間性(1) -社会契約説 4 国家社会と人間性(2) -ヘーゲルとマルクス 5 国家社会と人間性(3) -実存主義 6 公共性の復権と他者についての思考 7 公正な社会と個人 -現代の政治思想 file6 対話の意義	【知識・技能】 ・近代の思想家の在り方・生き方について理解を深め、その思想に関する基本的な知識を身につけている。人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取っている。また、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間をつくる上で必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・幸福、正義、公正などに着目して、公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	○	○	○	7
・個人の尊重と基本的人権の保障、法の支配や立憲主義という近代民主主義国家の基本的な原理を理解させ、国民の自由や権利が保障されていることの意義を考察させる。 ・日本国憲法の成立について、その歴史的背景と経緯について理解を深める。	第1章 民主政治の原理 1 近代国家と立憲主義 file7 法の意義と役割 2 日本国憲法の成立 file8 憲法改正について考えよう	【知識・技能】 近代民主主義国家の成立や基本的な原理を、関係する諸資料などから適切に選択し、その基本的な知識を身につけている。また、日本国憲法の成立についてその歴史的背景と経緯について理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代民主主義国家における課題を見出し、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の近代民主主義国家に対する関心を高め、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。	○	○	○	3

<p>・日本国憲法の三つの基本原理を踏まえ、平和主義と日本をめぐめる安全保障に関する情勢を理解させる。</p> <p>・日本国憲法が保障している基本的人権の内容を通して、政治制度との関わりについて考察させ、個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解を深めさせる。</p> <p>・現代社会において、基本的人権を拡充するものとして主張されている新しい人権の内容を理解させるとともに、国際社会における人権に関する諸条約の意義を考察させる。</p> <p>定期考査</p>	<p>第2章 人権の尊重と日本国憲法</p> <p>1 日本国憲法の三原理と人権保障</p> <p>2 平和主義と国際社会</p> <p>3 平等権</p> <p>4 自由権</p> <p>file9 多様化する社会の人権①</p> <p>file10 多様化する社会の人権②</p> <p>5 社会権</p> <p>6 参政権の保障と国務請求権</p> <p>7 新しい人権</p> <p>file11 多様化する家族について考えよう</p> <p>8 グローバル化と国際人権</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>日本国憲法の人権規定や新しい人権、人権諸条約などの内容とともに、基本的人権の具体的な意味と法の支配、立憲主義の概念を理解している。憲法の平和主義についての内容や、今日の安全保障をめぐめる情勢について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・憲法の人権保障について、法の支配、個人の尊重を基礎に人権を考察しており、権利をめぐめる様々な立場を踏まえて判断して考察し、表現している。また、平和主義と今日の安全保障政策の課題や方向性について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な見方を踏まえて判断している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>憲法と人権に関心を持ち、自己の生き方と結び付けて考察しようとしている。国際協調と平和主義を基礎とする日本の安全保障と自己の生き方を結び付けて関心を高めて</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>9</p>
<p>・民主社会の成立過程、現代社会の民主政治の仕組みと世界の政治制度について理解させる。</p> <p>・民主政治における世論形成と政治参加の意義について理解させ、主権者（有権者）として社会に関わる意識を高めさせる。</p>	<p>第1章 民主政治の成立と課題</p> <p>1 自由民主主義の成立と危機</p> <p>2 現代の民主主義と課題</p> <p>file12 世界の政治制度</p> <p>3 世論の形成と民主社会</p> <p>file13 情報モラルについて</p> <p>4 政治参加と主権者（有権者）</p> <p>5 選挙と政党</p> <p>file14 選挙に行こう！</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>現代の民主政治と政治参加に関する諸資料を様々なメディアから適切に選択し、効果的に活用し、民主政治と政治参加に対する理解を深め、その基本的な知識を身につけている。また、選挙について諸資料を収集して、求める課題についての情報を読み取り、選挙と政党についての知識を身につけ、現状を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・現代の民主政治と政治参加から課題を見出し、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。また、国民の政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>現代の民主政治と政治参加に対する関心を高め、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>6</p>
<p>・民主主義を中心とした立法、行政、司法の仕組みと課題を理解させ、制度や機構の背景にある民主政治の考え方について多面的・多角的に考察させる。</p> <p>・司法制度の仕組みと課題を理解させ、よりよい司法の実現のために、国民が司法に参加する意義を考察させる。</p> <p>・地方自治の仕組みを理解させ、地方自治が民主政治の基盤となっていること、地域の課題について考察させる。</p>	<p>第2章 日本の政治機構</p> <p>1 国会の役割としくみ</p> <p>2 内閣と行政機関</p> <p>3 裁判所の役割としくみ</p> <p>4 市民生活と司法参加</p> <p>file15 刑罰・更正と死刑制度</p> <p>5 地方自治と住民の生活</p> <p>file16 外国人住民の多い街</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>国会や内閣についての諸資料を収集し、資料から課題を読み取り、立法や行政のしくみ、政治の現状についての知識を身につけ、理解している。司法や地方自治について諸資料を収集して、求める課題についての情報を読み取り、司法や地方自治についての知識を身につけ、現状を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・立法や行政、財政の課題について、幸福、正義、公正の観点から考察し、判断することができる。司法や国民の政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>立法、行政、司法、地方自治について自己の生活と結び付け、社会における課題を解決するため、政治参加の意欲を高めている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>6</p>
<p>・国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解させ、国際社会が抱える課題を考察させる。</p> <p>・冷戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて理解させ、グローバル化が進化する国際社会の在り方や課題を多面的・多角的に考察する。</p>	<p>第3章 国際政治のしくみと役割</p> <p>1 国際政治の成り立ち</p> <p>2 国際連合の設立とその役割</p> <p>file17 国際連合の主要機関と課題</p> <p>3 冷戦とその終焉</p> <p>4 軍縮と安全保障</p> <p>5 リージョナリズム</p> <p>6 グローバル化と国家</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>国際社会の基本的な考え方や国際連合などの諸資料を活用して、国際社会のしくみを調べることができる。また、その上で、国際法の役割、国際連合のしくみや機能、人権に関する諸条約などについての知識を身につけ、理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・国際社会において幸福、正義、公正の観点から諸問題への見解を表現し、多様な意見を踏まえて判断している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>国際社会における主権国家間の関係に関心を持ち、国際社会の動向に主体的に考察しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>7</p>
<p>・現代の国際紛争の諸要因について理解させ、その対立を解消するために、多文化共生の観点から調整し協調することが国際政治に必要とされることを理解させる。</p> <p>・平和主義と国際協調の立場から、日本の安全保障や国際貢献の在り方について多面的・多角的に考察させる。</p> <p>定期考査</p>	<p>第4章 国際政治の現状と課題</p> <p>1 現代の紛争</p> <p>file18 パレスチナ問題について考えよう</p> <p>2 多文化・多民族社会に向けて</p> <p>3 移民と難民</p> <p>file19 難民問題</p> <p>4 日本の戦後外交と課題</p> <p>file20 原爆の記憶とその継承</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>戦後の国際政治に関する諸資料を収集し、分析することで、国際政治の変化を理解することに活用できる。戦後の国際政治の動きや現代の国際紛争、資源、兵器などの課題や安全保障問題などについて基本的な知識を身につけ、今日の国際情勢について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・戦後の国際政治の動向を考察し、諸国民の幸福、正義、公正の観点から、国際問題について見解を表現し、多様な意見を踏まえて判断している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>戦後の国際政治の動向に関心を持ち、日本の在り方と結び付けて考察しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>4</p>
<p>私たちの生活における経済の役割について理解させる。その際、消費者の権利と責任、職業選択、マクロ経済などについての基本的な知識を身につけさせ、経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察させる。</p> <p>定期考査</p>	<p>第1章 私たちと経済活動</p> <p>1 私たちと経済</p> <p>file21 消費者の権利と責任</p> <p>2 仕事と社会</p> <p>file22 学びの力</p> <p>3 国民経済とGDP</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>私たちの生活における経済の役割について、学習に役立つ情報を様々なメディアから適切に選択し、特に消費者の権利と責任・契約・職業選択・マクロ経済などの項目について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・私たちの生活における経済の役割について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な意見を踏まえて、自己の考えを適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>私たちの生活における経済の役割について、その社会に生きる自らの考えにちかづけて考察しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>4</p>

3 学 期	<p>・市場経済の機能、金融や財政の仕組みについて理解させ、その役割と課題について多面的・多角的に考察させる。</p> <p>・現代の企業の仕組みと特色を理解させ、企業統治や企業の社会的責任などについて考察させる。</p> <p>・日本経済の歩みを通して、公害、環境保全、雇用と労働問題、少子高齢化における社会保障の課題について、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>第2章 経済社会のしくみと役割</p> <p>1 社会のしくみとしての市場</p> <p>2 市場の機能 file23 需要曲線・供給曲線 file24 経済を考える視点 市場経済の歴史</p> <p>3 市場の限界</p> <p>4 金融とそのはたらき</p> <p>5 財政とそのはたらき file25 日本経済のあゆみ</p> <p>6 現代の企業 file26 もしも会社をつくるなら file27 公害の防止と環境保全</p> <p>7 労働問題</p> <p>8 社会保障の役割</p> <p>9 少子高齢化と財政の維持可能性</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>現代の市場、金融、財政などの経済活動の在り方についての学習に役立つ情報を様々なメディアから適切に選択し、効果的に活用している。また、企業や雇用、社会保障などの問題に関する諸資料を分析し、効果的に活用している。市場、金融、財政のしくみについての基本的な知識を身につけ、市場経済の課題について理解している。企業や雇用、社会保障などの現状についての知識を身につけ、その課題について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・現代の市場、金融、財政の課題について、また、日本の企業、雇用、社会保障などの問題について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な意見を踏まえて、自己の考えを適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>現代の市場、金融、財政の動向に関心を高め、自己の生き方に結びつけて考察しようとしている。また、企業、雇用、社会保障などの問題と自己の生き方を関連させながら</p>	○	○	○	10
	<p>・国際経済についての基本的な知識を身につけさせ、グローバル化する経済が抱える課題について多面的・多角的に考察させる。また、その課題解決には国際協調や自他の文化や宗教などを尊重する相互理解と寛容の態度が必要であることを理解させる。</p>	<p>第3章 国際経済の現状と課題</p> <p>1 国際取引と国際収支</p> <p>2 自由経済とグローバル化 file28 外国為替と円高・円安</p> <p>3 国際経済のこれから file29 国際経済と新興国 file30 限りある資源とエネルギー</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>国際経済に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。また、それを踏まえて国際経済についての基本的な知識を身につけ、その課題について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・国際経済に関する諸問題や、国際的な経済協力の必要性、国際社会における日本の経済的役割について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>国際経済に関する諸問題に関心を高め、国際的な経済協力の必要性や国際社会における日本の経済的役割について考察しようとしている。</p>	○	○	○	4
定期考査				○	○		合計 70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

公民 科目 教養社会

教科： 公民

科目： 教養社会

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： (1組：別木) (2組：別木) (3組：別木) (4組：別木) (5組：別木) (6組：別木)
(7組：別木) (8組：別木)

使用教科書： (高等学校 公共 (清水書院) 最新図説 公共 (浜島書店))

教科 公民 の目標： 人間と社会についての見方・考え方を育み、現代の諸課題を追求・解決する活動を行う。また、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に、主体的に生きる平和で民主的な社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論できる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する意欲や姿勢を持つことができる。

科目 教養社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え、考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。また、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめることができる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。	自らが国際社会の中で価値ある国家・社会を形成していく責任を自覚し行動し、その形成に主体的にかかわる存在であること。また国際的な相互依存が進む中で、自らが国際社会の形成者として、自らがよって立つ平和で民主的な国家・社会を維持・発展させることについての日本国民として必要な自覚と資質を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・青年期の特徴と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。 ・ギリシア哲学や宗教の学習を通して、「幸福」「愛」「徳」などの観点から、人間としての在り方生き方について思索させるとともに、人生における宗教や芸術のもつ意義について理解させる。 ・日本の思想が我が国の風土や伝統、外来思想の影響を受けながら形成されてきたことを理解させ、国際社会に生きる日本人としての自己の在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。	第1章 公共的な空間をつくる私たち 1 私たちの人生と社会 2 青年期の心理と課題 file1 職業の選択とライフコース 3 哲学の起源と発展 -ギリシア思想 4 一神教の教え 5 東洋の宗教と思想(1) -仏教 6 東洋の宗教と思想(2) -儒教 7 日本の風土と神仏への信仰 8 江戸時代の学問と近代化への歩み file2 伝統芸能と日本的美意識	【知識・技能】 ・生涯における青年期の意義や、現代社会における青年の状況について理解し、その基本的な知識を身につけている。先哲の在り方・生き方について理解を深め、先哲の著した原典資料を適切に活用し、その思想に関する基本的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・自己の内面形成と社会とのかわりに着目させながら、自己形成の課題について考察し、適切に表現している。先哲の在り方・生き方に触れて考えたことを、自らの言葉で適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間をつくる私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
・カントの思考と功利主義の考え方の理解をもとに、社会の構成員としての自己を意識させるとともに、「幸福」「正義」「公正」などの観点から、他者との関わりや社会のあり方について考察させる。 ・生命科学や医療技術の進展にともなって生じた倫理的課題から、生きることの意義について思索させるとともに、「幸福」「公正」などの観点から、社会のあり方について考察させる。 ・深刻化する環境問題とその解決に向けた取り組みを理解させ、地球規模の課題を身近な地域の問題として捉え、社会の構成員として生きる自己のあり方について考察させる。	第2章 公共的な空間における人間 1 義務論と功利主義 file3 思考実験 2 生命倫理 file4 代理出産を認めるべきか 3 環境倫理 file5 環境を守るために何ができるか	【知識・技能】 ・行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。生命科学や医療技術の進展に伴い、様々な課題が生じてきていることを理解し、その基本的な知識を身につけている。環境に関する政治・経済体制や倫理観の重要性を理解し、その基本的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・幸福、正義、公正などに着目して、倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間をつくる人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4
・経験論や合理論などの科学的な思考、社会契約説、ヘーゲルやマルクス、実存主義などの近代思想を通して、自然と人間との関わりを理解させ、社会の在り方と人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。 ・ハーバーマスやアレント、ロールズらの政治理論の理解をもとに、「公共的な空間」として形成された現代社会の諸課題、「社会的存在」である人間の在り方生き方について考察させる。	第3章 公共的な空間における基本的原理 1 近代的人間性の誕生(1) -近代の始まり 2 近代的人間性の誕生(2) -科学的な思考 3 国家社会と人間性(1) -社会契約説 4 国家社会と人間性(2) -ヘーゲルとマルクス 5 国家社会と人間性(3) -実存主義 6 公共性の復権と他者についての思考 7 公正な社会と個人 -現代の政治思想 file6 対話の意義	【知識・技能】 ・近代の思想家の在り方・生き方について理解を深め、その思想に関する基本的な知識を身につけている。人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取っている。また、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間をつくる上で必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・幸福、正義、公正などに着目して、公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとし	○	○	○	7
・個人の尊重と基本的人権の保障、法の支配や立憲主義という近代民主主義国家の基本的な原理を理解させ、国民の自由や権利が保障されていることの意義を考察させる。 ・日本国憲法の成立について、その歴史的背景と経緯について理解を深める。	第1章 民主政治の原理 1 近代国家と立憲主義 file7 法の意義と役割 2 日本国憲法の成立 file8 憲法改正について考えよう	【知識・技能】 近代民主主義国家の成立や基本的な原理を、関係する諸資料などから適切に選択し、その基本的な知識を身につけている。また、日本国憲法の成立についてその歴史的背景と経緯について理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代民主主義国家における課題を見出し、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の近代民主主義国家に対する関心を高め、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。	○	○	○	3

<p>・日本国憲法の三つの基本原理を踏まえ、平和主義と日本をめぐめる安全保障に関する情勢を理解させる。</p> <p>・日本国憲法が保障している基本的人権の内容を通して、政治制度との関わりについて考察させ、個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解を深めさせる。</p> <p>・現代社会において、基本的人権を拡充するものとして主張されている新しい人権の内容を理解させるとともに、国際社会における人権に関する諸条約の意義を考察させる。</p> <p>定期考査</p>	<p>第2章 人権の尊重と日本国憲法</p> <p>1 日本国憲法の三原理と人権保障</p> <p>2 平和主義と国際社会</p> <p>3 平等権</p> <p>4 自由権</p> <p>file9 多様化する社会の人権①</p> <p>file10 多様化する社会の人権②</p> <p>5 社会権</p> <p>6 参政権の保障と国務請求権</p> <p>7 新しい人権</p> <p>file11 多様化する家族について考えよう</p> <p>8 グローバル化と国際人権</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>日本国憲法の人権規定や新しい人権、人権諸条約などの内容とともに、基本的人権の具体的な意味と法の支配、立憲主義の概念を理解している。憲法の平和主義についての内容や、今日の安全保障をめぐめる情勢について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・憲法の人権保障について、法の支配、個人の尊重を基礎に人権を考察しており、権利をめぐめる様々な立場を踏まえて判断して考察し、表現している。また、平和主義と今日の安全保障政策の課題や方向性について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な見方を踏まえて判断している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>憲法と人権に関心を持ち、自己の生き方と結び付けて考察しようとしている。国際協調と平和主義を基礎とする日本の安全保障と自己の生き方を結び付けて関心を高めて</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>9</p>
<p>・民主社会の成立過程、現代社会の民主政治の仕組みと世界の政治制度について理解させる。</p> <p>・民主政治における世論形成と政治参加の意義について理解させ、主権者（有権者）として社会に関わる意識を高めさせる。</p>	<p>第1章 民主政治の成立と課題</p> <p>1 自由民主主義の成立と危機</p> <p>2 現代の民主主義と課題</p> <p>file12 世界の政治制度</p> <p>3 世論の形成と民主社会</p> <p>file13 情報モラルについて</p> <p>4 政治参加と主権者（有権者）</p> <p>5 選挙と政党</p> <p>file14 選挙に行こう！</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>現代の民主政治と政治参加に関する諸資料を様々なメディアから適切に選択し、効果的に活用し、民主政治と政治参加に対する理解を深め、その基本的な知識を身につけている。また、選挙について諸資料を収集して、求める課題についての情報を読み取り、選挙と政党についての知識を身につけ、現状を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・現代の民主政治と政治参加から課題を見出し、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。また、国民の政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>現代の民主政治と政治参加に対する関心を高め、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>6</p>
<p>・民主主義を中心とした立法、行政、司法の仕組みと課題を理解させ、制度や機構の背景にある民主政治の考え方について多面的・多角的に考察させる。</p> <p>・司法制度の仕組みと課題を理解させ、よりよい司法の実現のために、国民が司法に参加する意義を考察させる。</p> <p>・地方自治の仕組みを理解させ、地方自治が民主政治の基盤となっていること、地域の課題について考察させる。</p>	<p>第2章 日本の政治機構</p> <p>1 国会の役割としくみ</p> <p>2 内閣と行政機関</p> <p>3 裁判所の役割としくみ</p> <p>4 市民生活と司法参加</p> <p>file15 刑罰・更正と死刑制度</p> <p>5 地方自治と住民の生活</p> <p>file16 外国人住民の多い街</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>国会や内閣についての諸資料を収集し、資料から課題を読み取り、立法や行政のしくみ、政治の現状についての知識を身につけ、理解している。司法や地方自治について諸資料を収集して、求める課題についての情報を読み取り、司法や地方自治についての知識を身につけ、現状を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・立法や行政、財政の課題について、幸福、正義、公正の観点から考察し、判断することができる。司法や国民の政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>立法、行政、司法、地方自治について自己の生活と結び付け、社会における課題を解決するため、政治参加の意欲を高めている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>6</p>
<p>・国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解させ、国際社会が抱える課題を考察させる。</p> <p>・冷戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて理解させ、グローバル化が進化する国際社会の在り方や課題を多面的・多角的に考察する。</p>	<p>第3章 国際政治のしくみと役割</p> <p>1 国際政治の成り立ち</p> <p>2 国際連合の設立とその役割</p> <p>file17 国際連合の主要機関と課題</p> <p>3 冷戦とその終焉</p> <p>4 軍縮と安全保障</p> <p>5 リージョナリズム</p> <p>6 グローバル化と国家</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>国際社会の基本的な考え方や国際連合などの諸資料を活用して、国際社会のしくみを調べることができる。また、その上で、国際法の役割、国際連合のしくみや機能、人権に関する諸条約などについての知識を身につけ、理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・国際社会において幸福、正義、公正の観点から諸問題への見解を表現し、多様な意見を踏まえて判断している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>国際社会における主権国家間の関係に関心を持ち、国際社会の動向に主体的に考察しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>7</p>
<p>・現代の国際紛争の諸要因について理解させ、その対立を解消するために、多文化共生の観点から調整し協調することが国際政治に必要とされることを理解させる。</p> <p>・平和主義と国際協調の立場から、日本の安全保障や国際貢献の在り方について多面的・多角的に考察させる。</p> <p>定期考査</p>	<p>第4章 国際政治の現状と課題</p> <p>1 現代の紛争</p> <p>file18 パレスチナ問題について考えよう</p> <p>2 多文化・多民族社会に向けて</p> <p>3 移民と難民</p> <p>file19 難民問題</p> <p>4 日本の戦後外交と課題</p> <p>file20 原爆の記憶とその継承</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>戦後の国際政治に関する諸資料を収集し、分析することで、国際政治の変化を理解することに活用できる。戦後の国際政治の動きや現代の国際紛争、資源、兵器などの課題や安全保障問題などについて基本的な知識を身につけ、今日の国際情勢について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・戦後の国際政治の動向を考察し、諸国民の幸福、正義、公正の観点から、国際問題について見解を表現し、多様な意見を踏まえて判断している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>戦後の国際政治の動向に関心を持ち、日本の在り方と結び付けて考察しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>4</p>
<p>私たちの生活における経済の役割について理解させる。その際、消費者の権利と責任、職業選択、マクロ経済などについての基本的な知識を身につけさせ、経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>第1章 私たちと経済活動</p> <p>1 私たちと経済</p> <p>file21 消費者の権利と責任</p> <p>2 仕事と社会</p> <p>file22 学びの力</p> <p>3 国民経済とGDP</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>私たちの生活における経済の役割について、学習に役立つ情報を様々なメディアから適切に選択し、特に消費者の権利と責任・契約・職業選択・マクロ経済などの項目について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・私たちの生活における経済の役割について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な意見を踏まえて、自己の考えを適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>私たちの生活における経済の役割について、その社会に生きる自らの考えにちかづけて考察しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>4</p>

3 学 期	<p>・市場経済の機能、金融や財政の仕組みについて理解させ、その役割と課題について多面的・多角的に考察させる。</p> <p>・現代の企業の仕組みと特色を理解させ、企業統治や企業の社会的責任などについて考察させる。</p> <p>・日本経済の歩みを通して、公害、環境保全、雇用と労働問題、少子高齢化における社会保障の課題について、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、多面的・多角的に考察させる。</p>	<p>第2章 経済社会のしくみと役割</p> <p>1 社会のしくみとしての市場</p> <p>2 市場の機能 file23 需要曲線・供給曲線 file24 経済を考える視点 市場経済の歴史</p> <p>3 市場の限界</p> <p>4 金融とそのはたらき</p> <p>5 財政とそのはたらき file25 日本経済のあゆみ</p> <p>6 現代の企業 file26 もしも会社をつくるなら file27 公害の防止と環境保全</p> <p>7 労働問題</p> <p>8 社会保障の役割</p> <p>9 少子高齢化と財政の維持可能性</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>現代の市場、金融、財政などの経済活動の在り方についての学習に役立つ情報を様々なメディアから適切に選択し、効果的に活用している。また、企業や雇用、社会保障などの問題に関する諸資料を分析し、効果的に活用している。市場、金融、財政のしくみについての基本的な知識を身につけ、市場経済の課題について理解している。企業や雇用、社会保障などの現状についての知識を身につけ、その課題について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・現代の市場、金融、財政の課題について、また、日本の企業、雇用、社会保障などの問題について、幸福、正義、公正の観点から考察し、多様な意見を踏まえて、自己の考えを適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>現代の市場、金融、財政の動向に関心を高め、自己の生き方に結びつけて考察しようとしている。また、企業、雇用、社会保障などの問題と自己の生き方を関連させながら</p>	○	○	○	10
	<p>・国際経済についての基本的な知識を身につけさせ、グローバル化する経済が抱える課題について多面的・多角的に考察させる。また、その課題解決には国際協調や自他の文化や宗教などを尊重する相互理解と寛容の態度が必要であることを理解させる。</p>	<p>第3章 国際経済の現状と課題</p> <p>1 国際取引と国際収支</p> <p>2 自由経済とグローバル化 file28 外国為替と円高・円安</p> <p>3 国際経済のこれから file29 国際経済と新興国 file30 限りある資源とエネルギー</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>国際経済に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。また、それを踏まえて国際経済についての基本的な知識を身につけ、その課題について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・国際経済に関する諸問題や、国際的な経済協力の必要性、国際社会における日本の経済的役割について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>国際経済に関する諸問題に関心を高め、国際的な経済協力の必要性や国際社会における日本の経済的役割について考察しようとしている。</p>	○	○	○	4
定期考査				○	○		合計 70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用）

教科 公民

科目 政治経済

教科：公民

科目：政治経済

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：木村） （2組：木村） （3組：別木） （4組：別木）
 （5組：木村） （6組：木村） （7組：木村） （8組：木村）

使用教科書：（政治・経済（東京書籍））

教科 公民 の目標：人間と社会についての見方・考え方を育み、現代の諸課題を追求・解決する活動を行う。また、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に、主体的に生きる平和で民主的な社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論できる。

【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する意欲や姿勢を持つことができる。

科目 政治経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	合意形成や社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題について考察し、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。	よりよい社会の実現のために、国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
○民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解する。 ○法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か考察する。	【現代日本の政治】 ■1節 民主政治の基本原則 1 民主政治の成立 2 法と民主政治 18歳からの社会参加① 18歳になるとできること 3 基本的人権の確立 4 現代の民主政治 5 世界のおもな政治体制	【知識・技能】 ・民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
○日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。 ○近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか考察する。	【現代日本の政治】 ■2節 日本国憲法の基本原則 1 日本国憲法の制定と基本原則 2 基本的人権の保障 3 平和主義	【知識・技能】 ・明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	3
○国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解する。 ○国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか考察する。	【現代日本の政治】 ■3節 日本の政治機構 1 国会と立法 2 内閣と行政 3 裁判所と司法 4 地方自治	【知識・技能】 ・国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4
○政党政治と利益集団、選挙の意義としくみ、選挙をめぐる諸問題、世論形成におけるマスメディアの役割について理解する。 ○具体的な政策を通して、主権者である自分はどうのように政治参加をしていけばよいか考察する。	【現代日本の政治】 ■4節 現代政治の特質と課題 1 戦後政治と政党 2 選挙と政治意識 3 世論と政治参加 18歳からの社会参加② 選挙権の行使に向けて	【知識・技能】 ・政党政治と利益集団、選挙の意義としくみ、選挙をめぐる諸問題、世論形成におけるマスメディアの役割について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・主権者である自分はどうのように政治参加をしていけばよいか、具体的な政策を通して多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4

1
学
期

	<p>○社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代日本の経済に関わる諸課題について多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、現代日本の経済に関わる概念や理論などを理解できるようにするとともに、課題を意欲的に追究する。</p> <p>○経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融のしくみと機能について理解する。</p> <p>○企業、市場経済、国民所得、金融の観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみで、どのような課題を抱えているか考察する。</p> <p>定期考査</p>	<p>【現代日本の経済】</p> <p>■1節 現代の資本主義経済</p> <p>1 経済活動の意義</p> <p>2 資本主義経済の発展と変容</p> <p>■2節 現代経済のしくみ</p> <p>1 経済主体と経済の循環</p> <p>2 生産のしくみと企業</p> <p>3 市場経済の機能と限界</p> <p>4 国民所得と経済成長</p> <p>5 金融のしくみと機能</p> <p>18歳からの社会参加③ ライフプランと金融</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義、経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融のしくみと機能について理解している。</p> <p>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・資本主義経済の特徴に着目し、資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・企業、市場経済、国民所得、金融の観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみで、どのような課題を抱えているか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代の資本主義経済及び日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
2 学 期	<p>○財政のしくみと機能について理解する。</p> <p>○財政の観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみで、どのような課題を抱えているか考察する。</p> <p>○戦後日本経済の発展と日本経済の現状について理解する。</p> <p>○現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか考察する。</p>	<p>【現代日本の経済】</p> <p>■2節 現代経済のしくみ</p> <p>6 財政のしくみと機能</p> <p>■3節 日本経済の発展と現状</p> <p>1 戦後日本経済の発展</p> <p>2 日本経済の現状</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・戦後日本経済の発展と、日本経済の現状について理解している。</p> <p>・財政のしくみと機能について理解している。</p> <p>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・財政の観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみで、どのような課題を抱えているか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>○公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解する。</p> <p>○日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか考察する。</p>	<p>【現代日本の経済】</p> <p>■4節 福祉社会と日本経済の課題</p> <p>1 公害と環境保全</p> <p>2 農業・食料問題</p> <p>3 中小企業の現状と課題</p> <p>4 情報化の進展と社会の変化</p> <p>5 消費者問題</p> <p>18歳からの社会参加④ 消費者市民社会の実現に向けて</p> <p>6 雇用と労働問題</p> <p>18歳からの社会参加⑤ 働き方について考える</p> <p>7 社会保障と福祉</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解している。</p> <p>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>○社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、習得した概念や理論などを活用しながら、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本の諸課題の解決に向け、政治と経済を関連させて多面的・多角的に考察したり構想したりする活動を通して、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述し、合意形成や社会参画に向かうことができるようにする。</p>	<p>【現代日本の諸課題】</p> <p>1 少子高齢社会における社会保障</p> <p>2 地域社会の活性化</p> <p>3 多様な働き方・生き方の実現</p> <p>4 中小企業の意義と課題</p> <p>5 日本の財政の健全化</p> <p>6 持続可能な食料・農業の実現</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かうようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>○社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の国際政治に関わる諸課題について多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、現代の国際政治に関わる概念や理論などを理解できるようにするとともに、国際平和と人類の福祉に寄与しようとする自覚を深める。</p> <p>○第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本について理解する。</p> <p>定期考査</p>	<p>【現代の国際政治】</p> <p>■1節 国際政治のしくみ</p> <p>1 国際政治の特質</p> <p>2 国際社会と国際法</p> <p>3 国際連合の役割と課題</p> <p>■2節 複雑化する国際政治と日本</p> <p>1 戦後国際関係の展開と日本</p> <p>2 冷戦後の国際関係と日本</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・国際社会の成立と主権国家、国際社会の秩序維持と国際法、国際連合の成立と挫折、国際連合の役割と課題、第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本について理解している。</p> <p>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・国際社会のさまざまな主体やルールに着目し、国際社会における利害調整や紛争解決がどのように行われているか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・国際社会の各主体の役割や自分自身との関わりに着目して、国際対立や地域紛争を解決し、平和を実現するにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>○地域主義の動き、軍縮の動向と課題、地域紛争と難民問題、国際社会における日本の役割について理解する。</p> <p>○国際社会の各主体の役割や自分自身との関わりに着目して、国際対立や地域紛争を解決し、平和を実現するにはどうすればよいか考察する。</p>	<p>【現代の国際政治】</p> <p>■2節 複雑化する国際政治と日本</p> <p>3 地域主義の動き</p> <p>4 軍縮の動向と課題</p> <p>5 紛争・難民・テロリズム</p> <p>6 国際社会における日本の役割</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・地域主義の動き、軍縮の動向と課題、地域紛争と難民問題、国際社会における日本の役割について理解している。</p> <p>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・国際社会の各主体の役割や自分自身との関わりに着目して、国際対立や地域紛争を解決し、平和を実現するにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	6

3 学 期	<p>○自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解する。</p> <p>○貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいか考察する。</p>	<p>【現代の国際経済】</p> <p>■1節 国民経済と国際経済</p> <p>1 貿易と国際収支</p> <p>2 戦後国際経済体制の展開</p> <p>3 発展途上国の経済</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解している。</p> <p>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>○グローバル化する世界経済や、地球環境問題、資源・エネルギー問題、貧困問題などの主要な地球的課題について理解する。</p> <p>○地球社会の一員としての立場から、地球規模の課題について自分はどうのように対処していけばよいか考察する。</p>	<p>【現代の国際経済】</p> <p>■2節 世界経済の現状と課題</p> <p>1 グローバル化する世界経済</p> <p>2 地球環境問題</p> <p>3 資源・エネルギー問題</p> <p>4 人口・貧困・感染症</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・グローバル化する世界経済や、地球環境問題、資源・エネルギー問題、貧困問題などの主要な地球的課題について理解している。</p> <p>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・地球社会の一員としての立場から、地球規模の課題について自分はどうのように対処していけばよいか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	5
合計							70

教科名	地理・歴史科		科目分類	自由選択
科目名	日本史演習		単位数	6 単位
学年	3 学年	担当者	渡邊 浩	

教科書 使用副教材	
--------------	--

学期	月	予定時数	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法			
一学期	4	中間 36	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化のあけぼの ・律令国家の形成 ・貴族と国風文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧石器時代から飛鳥時代までの社会の変化を理解する。 ・大陸文化の影響、習俗の推移など人々の生活について理解する。 ・貴族社会の特質を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】出席状況、授業態度 【思】授業中の問題 【技】小テスト 【知】提出課題 			
	5							
	6	期末 36				<ul style="list-style-type: none"> ・中世社会の成立 ・武家社会の成長 ・幕藩体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・院政・平氏政権・鎌倉幕府・室町幕府それぞれの違いを理解する。 ・古代から中世にかけての国家の展開と各時代の文化の特色について理解する。 ・地方の動向や国際関係の変化を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】出席状況、授業態度 【思】授業中の問題 【技】小テスト 【知】提出課題
	7							
二学期	9	中間 42	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の展開 ・幕藩体制の動揺 ・近代国家の成立 ・二つの世界大戦とアジア 	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の特色と推移、社会や文化の動向について理解する。 ・産業の発展について理解する。 ・倒幕への過程と維新政府の政策を理解する。 ・日露戦争から第二次世界大戦までの諸外国との関係の推移を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】出席状況、授業態度 【思】授業中の問題 【技】小テスト 【知】提出課題 			
	10							
	11	期末 36				<ul style="list-style-type: none"> ・占領下の日本 ・高度成長の時代 	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の立憲国家としての展開について理解する。 ・日本経済と国際経済とのかかわりを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】出席状況、授業態度 【思】授業中の問題 【技】小テスト 【知】提出課題
	12							
三学期	1	学年末 4	<ul style="list-style-type: none"> ・激動する世界と日本 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の終結から今日に至る我が国の歴史について理解する。 ・日本の文化や課題について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】出席状況、授業態度 【思】授業中の問題 【技】小テスト 【知】提出課題 			
	2							
	3							

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史演習

教科： 地理歴史 科目： 世界史演習 単位数： 6 単位
 対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組
 教科担当者： (1～6組：早田)

使用教科書： (詳説世界史 (山川出版社) アカデミア世界史 (浜島書店))

教科 地理歴史 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする
- 【思考力、判断力、表現力等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う

科目 世界史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・西欧において近世へと移り変わっていった流れと、その契機について理解している。 ・ヨーロッパにおける主権国家について、中世の国と比較しながら、その特徴について理解している。 ・主権国家体制が、各国でどのように形成していったかについて理解している。 ・ドイツ地域において、統一国家が成立しなかった要因について、考察し表現している。 ・近世ヨーロッパにおける科学革命と啓蒙思想について、政治史とのかかわりも踏まえながら理解している。 ・産業革命と環大西洋革命が、世界にどのような影響を与えたかについて考察し表現している	・近世ヨーロッパ世界の動向 ・産業革命と環大西洋革命	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	12
・ウィーン体制の特徴について、理解している。 ・ウィーン体制下の、各国の動向について理解している。 ・各国におけるナショナリズムの動きについて理解している。 ・混沌とした国際社会における、各国のねらいについて、その動向などから考察し表現している ・世界が一体化していく中で、アジア世界がどのように変容していったかについて理解している。 ・列強諸国とアジア諸国とのかかわりについて理解している	・イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ・アジア諸地域の動揺	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	18
・帝国主義の特徴とその本質について、理解している。 ・列強による世界分割がなぜ進んだかについて、考察し表現している ・列強体制がどのようにして二分化していったかについて理解し、それが世界にどのような影響を与えたかについて考察し表現している ・アジア諸国における民族運動について、それぞれの特徴を理解している ・第一次世界大戦がなぜ起こったかについて考察し表現している ・第一次世界大戦の大きな流れについて理解している	・帝国主義とアジアの民族運動 ・第一次世界大戦と世界の変容	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	18
・第一次世界大戦後の世界がどのように変容していったかについて理解している ・世界恐慌がせいかいどのような影響を与えたかについて考察し表現している ・第二次世界大戦の大まかな流れについて理解している。 ・戦後世界がどのようにして形成したかについて理解している	・第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている	○	○	○	12

	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の大きな流れについて理解している。 ・冷戦の中で形成された第三世界について、その成り立ちと特徴について理解している。 ・冷戦がどのようにして終結したかについて理解している。 ・今日の世界がどのようにして形作られたかについて理解するとともに、今後の世界をよりよくしていくため、世界の課題を主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦と第三世界の台頭 ・冷戦の終結と今日の世界 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている 	○	○	○	12
	定期考査			○	○		
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・国ごとの歴史をそれぞれ確認することで、タテのつながりがバラバラにならないようにすることで、世界史の大きな流れについて、より深く理解できている ・タテのつながりを意識しつつも、同時代の横のつながりについても理解することができている ・各国の大まかな歴史の流れを、教科書などを見ることなく説明することができている。 ・これまでの学習をふまえて、問題演習を行い、学んだ知識を定着させることができている 	<ul style="list-style-type: none"> ・各国史 ・問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている 	○	○	○	24
	<ul style="list-style-type: none"> ・経済史や思想史、制度史など、生徒にとって理解しやすいテーマについて、時代の流れの中でまとめて確認することで、世界史についての理解をさらに深めている。 ・これまでの学習をふまえて、問題演習を行い、学んだ知識を定着させることができている 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ史 ・問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている 	○	○	○	18
	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を踏まえ、本校生徒が多く受験する大学の過去問を中心に演習を行い、世界史知識をより定着させることができている ・生徒自身が受験する大学の過去問演習もを行い、過去問分析を行うことで、自身の今後の勉強について、計画を立てることができている ・演習と復習を繰り返しながら、苦手分野の克服をすることができている 	・過去問演習と解説	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている 	○	○	○	18
	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を踏まえ、本校生徒が多く受験する大学の過去問を中心に演習を行い、世界史知識をより定着させることができている ・生徒自身が受験する大学の過去問演習もを行い、過去問分析を行うことで、自身の今後の勉強について、計画を立てることができている ・演習と復習を繰り返しながら、苦手分野の克服をすることができている 	・過去問演習と解説	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察している ・歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を身に付けている 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている 	○	○	○	18
	定期考査				○	○	
	授業終了						0

3 学期

授業終了

0

授業終了

0

合計

150

定期考査

年間授業計画

高等学校 令和6年度 (3学年用)

教科 公民

科目 政治経済演習

教科: 公民

科目: 政治経済演習

単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組 ~ 8 組

教科担当者: (1~8組 選択者: 木村)

使用教科書: (政治・経済 (東京書籍))

教科 公民 の目標: 人間と社会についての見方・考え方を育み、現代の諸課題を追求・解決する活動を行う。また、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に、主体的に生きる平和で民主的な社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論できる。

【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する意欲や姿勢を持つことができる。

科目 政治経済演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	合意形成や社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題について考察し、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。	よりよい社会の実現のために、国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うおうちしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
○社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、習得した概念や理論などを活用しながら、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本の諸課題の解決に向け、政治と経済を関連させて多面的・多角的に考察したり構想したりする活動を通して、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述し、合意形成や社会参画に向かうことができるようにする。	【現代日本の諸課題】 1 少子高齢社会における社会保障 2 地域社会の活性化 3 多様な働き方・生き方の実現 4 中小企業の意義と課題 5 日本の財政の健全化 6 持続可能な食料・農業の実現	【知識・技能】 ・現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かうおうちしている。	○	○	○	16
○国際社会の成立と主権国家、国際社会の秩序維持と国際法、国際連盟の成立と挫折、国際連合の役割と課題について理解する。 ○国際社会のさまざまな主体やルールに着目して、国際社会における利害調整や紛争解決がどのように行われているかを考察する。	【現代の国際政治】 ■1節 国際政治のしくみ 1 国際政治の特質 2 国際社会と国際法 3 国際連合の役割と課題	【知識・技能】 ・国際社会の変遷、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、軍縮と紛争防止、日本の国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
○第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本、地域主義の動き、軍縮の動向と課題、地域紛争と難民問題、国際社会における日本の役割について理解する。 ○国際社会の各主体の役割や自分自身との関わりに着目して、国際対立や地域紛争を解決し、平和を実現するにはどうすればよいか考察する。	【現代の国際政治】 ■2節 複雑化する国際政治と日本 1 戦後国際関係の展開と日本 2 冷戦後の国際関係と日本 3 地域主義の動き 4 軍縮の動向と課題 5 紛争・難民・テロリズム 6 国際社会における日本の役割	【知識・技能】 ・第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本、地域主義の動き、軍縮の動向と課題、地域紛争と難民問題、国際社会における日本の役割について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国際社会の各主体の役割や自分自身との関わりに着目して、国際対立や地域紛争を解決し、平和を実現するにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	16
○自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解する。 ○貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいか考察する。	【現代の国際経済】 ■1節 国民経済と国際経済 1 貿易と国際収支 2 戦後国際経済体制の展開 3 発展途上国の経済	【知識・技能】 ・自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9

<p>○グローバル化する世界経済や、地球環境問題、資源・エネルギー問題、貧困問題などの主要な地球的課題について理解する。</p> <p>○地球社会の一員としての立場から、地球規模の課題について自分はどうに対処していけばよいか考察する。</p> <p>定期考査</p>	<p>【現代の国際経済】</p> <p>■2節 世界経済の現状と課題</p> <p>1 グローバル化する世界経済</p> <p>2 地球環境問題</p> <p>3 資源・エネルギー問題</p> <p>4 人口・貧困・感染症</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・グローバル化する世界経済や、地球環境問題、資源・エネルギー問題、貧困問題などの主要な地球的課題について理解している。</p> <p>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・地球社会の一員としての立場から、地球規模の課題について自分はどうに対処していけばよいか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>8</p>
<p>○社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代日本の経済に関わる諸課題について多面的・多角的に考察したり、解決に向けて精想したりする活動を通して、現代日本の経済に関わる概念や理論などを理解できるようにするとともに、課題を意欲的に追究する。</p> <p>○経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融・財政のしくみと機能について理解する。</p> <p>○企業、市場経済、国民所得、金融・財政の観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみで、どのような課題を抱えているか考察する。</p>	<p>【現代日本の経済】</p> <p>■1節 現代の資本主義経済</p> <p>1 経済活動の意義</p> <p>2 資本主義経済の発展と変容</p> <p>■2節 現代経済のしくみ</p> <p>1 経済主体と経済の循環</p> <p>2 生産のしくみと企業</p> <p>3 市場経済の機能と限界</p> <p>4 国民所得と経済成長</p> <p>5 金融のしくみと機能</p> <p>18歳からの社会参加③ ライフプランと金融</p> <p>6 財政のしくみと機能</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義、経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融・財政のしくみと機能について理解している。</p> <p>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・資本主義経済の特徴に着目し、資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・企業、市場経済、国民所得、金融・財政の観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみで、どのような課題を抱えているか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代の資本主義経済及び日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>21</p>
<p>○戦後日本経済の発展と日本経済の現状について理解する。</p> <p>○現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか考察する。</p>	<p>【現代日本の経済】</p> <p>■3節 日本経済の発展と現状</p> <p>1 戦後日本経済の発展</p> <p>2 日本経済の現状</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・戦後日本経済の発展と、日本経済の現状について理解している。</p> <p>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>6</p>
<p>○公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解する。</p> <p>○日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか考察する。</p>	<p>【現代日本の経済】</p> <p>■4節 福祉社会と日本経済の課題</p> <p>1 公害と環境保全</p> <p>2 農業・食料問題</p> <p>3 中小企業の現状と課題</p> <p>4 情報化の進展と社会の変化</p> <p>5 消費者問題</p> <p>18歳からの社会参加④ 消費者市民社会の実現に向けて</p> <p>6 雇用と労働問題</p> <p>18歳からの社会参加⑤ 働き方について考える</p> <p>7 社会保障と福祉</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解している。</p> <p>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>21</p>
<p>○民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化について理解する。</p> <p>○法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにどのようなことが必要か考察する。</p> <p>定期考査</p>	<p>【現代日本の政治】</p> <p>■1節 民主政治の基本原則</p> <p>1 民主政治の成立</p> <p>2 法と民主政治</p> <p>18歳からの社会参加① 18歳になるとできること</p> <p>3 基本的人権の確立</p> <p>4 現代の民主政治</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化について理解している。</p> <p>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>12</p>
<p>○世界のおもな政治体制について理解する。</p> <p>○法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにどのようなことが必要か考察する。</p> <p>○日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。</p> <p>○近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか考察する。</p>	<p>【現代日本の政治】</p> <p>■1節 民主政治の基本原則</p> <p>5 世界のおもな政治体制</p> <p>【現代日本の政治】</p> <p>■2節 日本国憲法の基本原則</p> <p>1 日本国憲法の制定と基本原則</p> <p>2 基本的人権の保障</p> <p>3 平和主義</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・世界のおもな政治体制について理解している。</p> <p>・明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。</p> <p>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p>	<p>8</p>

2
学
期

3 学 期	<p>○国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解する。</p> <p>○国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか考察する。</p>	<p>【現代日本の政治】</p> <p>■3節 日本の政治機構</p> <p>1 国会と立法</p> <p>2 内閣と行政</p> <p>3 裁判所と司法</p> <p>4 地方自治</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。</p> <p>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8	
	<p>○政党政治と利益集団、選挙の意義としくみ、選挙をめぐる諸問題、世論形成におけるマスメディアの役割について理解する。</p> <p>○具体的な政策を通して、主権者である自分はどうのように政治参加をしていけばよいか考察する。</p>	<p>【現代日本の政治】</p> <p>■4節 現代政治の特質と課題</p> <p>1 戦後政治と政党</p> <p>2 選挙と政治意識</p> <p>3 世論と政治参加</p> <p>18歳からの社会参加② 選挙権の行使に向けて</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>・政党政治と利益集団、選挙の意義としくみ、選挙をめぐる諸問題、世論形成におけるマスメディアの役割について理解している。</p> <p>・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・主権者である自分はどうのように政治参加をしていけばよいか、具体的な政策を通して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	6	
							合計	140